

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	：十分達成できている
B	：おおむね達成できている
C	：やや不十分である
D	：不十分である

学校名	伊万里市立山代西小学校
1 前年度 評価結果の概要	評価結果は全項目でAまたはBの評価となり、一定の成果が上げられていると考える。しかし、「学力の向上」については、家庭学習の習慣化が十分に身に付いていない児童がいるため、更なる内容の見直しや取り組みの工夫を行っていく。また、「情報モラルの指導」については、様々な場面で取り組んできたが、家庭での実践につながっていないことが分かった。以上の2項目は、より一層家庭と連携しながら継続して取り組んでいきたい。令和4年度も地域の方々の来校や地域各所に出かけての調べ活動や体験活動等を通して、地域のよさを感じ取る学習ができた。地域の方からの喜びの声も学校に届いた。今年度も継続して取り組むが、職員の多忙感が増さないよう時期や内容等を精査していく。
2 学校教育目標	感謝の心を大切に、自ら学び・行動する人間性豊かな児童の育成
3 本年度の重点目標	<input type="radio"/> 「ありがとう」と言える心を育てる（豊かな心） <input type="radio"/> 健康的な生活の実践意欲を育てる（健やかな体） <input type="radio"/> 実態に合う指導で学ぶ意欲を育てる（学力の向上）

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・問題解決学習を中心に据え、学び合い活動を充実させる授業の実践	○自分の考えをしっかりと持ち、考えを深めていく学び合い活動を実践できたと答える教師を85%以上にする。 ○「自分の考えを発表することが好き」「友達の考えを聞くことが好き」と回答した児童を80%以上にする。	・学年の実態に応じ、「学び合い」振り返りを重点にした授業の流れを実践していく。 ・問題解決学習の流れを取り入れた授業を実践する。 ・図や表などを適切に用いて相手に伝えることの習慣化を図る。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校は様々な資料等を活用し、心の教育に積極的に取り組んでいると答える保護者を80%以上にする。	・「いのちの教育」指導資料を活用した道徳年間計画を作成し、道徳の授業の実践を行う。 ・保護者へ「ふれあい道徳」の案内を出すことで関心を高め、家庭と学校とが協力して心の教育に向かうことができるようにする。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「月のこころ」アンケートで、「学校が楽しい」と答える児童が90%以上になるようにする。	・毎月末に「月のこころ」アンケートを実施し、児童の心の状態の把握に努める。 ・職員連絡会(週1回)で生徒指導について話し場を設定し、共通理解を図る。							
	●◎夢や目標の実現に向けて努力しようとする意欲を高める教育活動の推進	●◎自分の夢や目標の実現に向けて、努力していきたいと思う児童を90%以上にする。	・道徳科を中心に様々な教育活動を通して、自分自身と向き合う時間をつくり、目標や夢について考えさせる。 ・努力することの大切さを感じ取らせるために、学習や体験活動、行事への取組等において学びの振り返りを行う。							
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	○授業以外で外に出て遊ぶ日が一週間で3日以上の児童を80%以上にする。	・保健だよりを活用する。 ・運動時間について口頭で尋ね、定期的以外で身体を動かすように呼びかける。 ・やまびこ広場にて、運動の大切さを伝え、身体を動かすことのよさを感じる場を設ける。							
	○食育の充実	○給食を偏りなく食べることができる児童を85%以上にする。	・給食時間ややまびこ広場において、望ましい食習慣や食に関する指導を行う。 ・保健だよりと給食だよりを活用し、家庭でも偏食をなくすよう協力を呼びかける。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日(金曜日)を設定する。 ・業務記録票による勤務時間の確認と必要に応じて個別対応や支援を行う。 ・校務のICT化を促進させ、業務の効率化を図る。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)								
○特色ある学校づくり	○地域の素材を生かした学習活動	○校区内の「人、自然、もの、行事」に愛着をもち、これからも大切にしていきたいと思う児童を90%以上にする。	・地域人材を活用することで地域の方々との交流や体験活動を積極的に行う。 ・地域の特色を生かし、社会科や生活科、総合的な学習の時間等と関連付けることで学習内容の充実を図る。							
○危機管理	○情報モラルの指導	○情報モラルについて、インターネット上の危険やSNSの適切な使い方方を十分に理解できている児童を90%以上にする。	・アンケートを実施し、児童のインターネット機器や環境についての実態を把握する。その結果を基に指導内容の精選を行い、学期に1回以上の指導を実施する。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--